

# 特 別 功 勞 表 彰

氏名 (敬称略)	しゅとう ただし 首藤 正
役職等	元別府市議会 議長 元別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会議長
功績内容	昭和54年4月に別府市議会議員に初当選以来、令和5年4月まで11期44年にわたり、市議会議員として別府市の発展に尽力された。その間、市議会議長をはじめ、観光経済委員会委員長等を務め、学校現場から要望のあった小・中学校の増改築工事の推進や国際交流の拠点としてのコンベンションホールの建設促進に尽力された。さらに、南部振興及び浜脇再開発対策特別委員会副委員長を務め南部地区の振興に貢献された。また、議会運営委員会委員長等の要職を務め、市民福祉の向上並びに市勢の振興に寄与された功績は多大である。

氏名 (敬称略)	いとせ かつなり 糸瀬 勝成
役職等	元別府市歯科医師会 会長
功績内容	平成15年から平成17年まで歯と口の健康週間を、平成16年11月、平成17年11月に「はなしなしか」無料歯科健診を実施し、市民の歯科治療及び歯科保健の普及啓発を行った。平成16年2月、平成17年2月に中央保健所にて地域歯科保健研修会講演「フッ素がいいのは、なしか」を開催し、幼稚園でのフッ化物洗口の取り組みについて講演した。平成17年3月には中央保健所にて地域歯科保健研修会 親子歯科保健学習 講演「フッ素がいいのは、なしか」一乳幼児期からの虫歯予防一の講演を開催し、フッ化物の重要性を呼び掛けた。地域住民に対する歯科治療や学校歯科保健活動、歯科保健公衆衛生の普及向上に寄与された功績は多大である。

氏名 (敬称略)	わだ しげゆき 和田 茂幸
役職等	山の手スポーツ少年団野球部 監督
功績内容	山の手スポーツ少年団野球部の監督として50年間指導を行い、少年球児の技術向上、健全育成に寄与された。指導者として大分県単位の大会に優勝するなど、これまでに多くの大会で優秀な成績を残している。また、今年で42回目となる別府市南部大会をはじめ、別府市学童軟式野球ミントス交流会を開催するなど、少年野球の普及、振興活動に努め、多くの球児を育成した功績は多大である。

氏名 (敬称略)	なかむら えいすけ 中村 英助
役職等	元別府市医師会副会長 医療法人恵愛会中村病院 理事長・院長
功績内容	<p>長年にわたり、整形外科医として市民の健康管理、治療等に献身的に奉仕され、地域住民から厚い信頼を受けている。平成14年に別府市医師会理事に就任。平成16年に常任理事、平成18年に専務理事を経て、平成20年4月から平成28年6月まで副会長として会務全般を運営・統括した。医師会員の融和・親睦・後進の育成・指導に腐心するとともに、医師会活動を通して別府市の保健行政に積極的に関与された。在任中は別府市消防本部と連携して「市民救急フォーラム」を企画・運営し、市民の救急医療や救急業務に対する理解と認識の向上を図るなど、地域医療の充実、救急医療体制の整備に尽力した功績は多大である。</p>

団体名 (敬称略)	べっぶしみん かんげんがくだん 別府市民フィルハーモニア管弦楽団 (代表者 うちだ ひろし)
功績内容	<p>「別府市民フィルハーモニア管弦楽団」は、平成6年に「別府市民交響楽団」として結成された、歴史ある別府唯一の管弦楽団であり、今年、設立から30年の節目を迎えた。平成7年には世界的ピアニストであるマルタ・アルゲリッチと共演した実績を持つ。年2回定期演奏会を開催しており、市民に低料金でオーケストラの生の音楽を聴いていただきたいとの思いから30年間入場料金を上げずに活動を続けている。また、これまで別府駅コンコースでのオーケストラによる演奏会、別府公園、別府市役所市民ひろばでのトリオやアンサンブル演奏会を開催するなど、音楽の普及活動に寄与された功績は多大である。</p>

# 功 勞 表 彰

自 治 部 門	5 名
公共福祉部門	1 6 名
教育・文化・スポーツ部門	1 名
市民活動部門	1 団体

# 自治部門（5名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
<p>ひらの 文活 平野 文活</p>	<p>平成11年に別府市議会議員に初当選以来、令和5年4月まで6期24年にわたり市議会議員として地方自治の振興と市勢の発展に尽力し、その間、市議会総務文教委員会委員長、厚生委員会副委員長、市議会観光振興及び企業誘致・大学対策特別委員会副委員長、議会選出の農業委員会委員等の要職を歴任し、市民福祉の向上並びに市勢の振興に多大な貢献をされた。</p>
<p>たなか 正夫 田中 正夫</p>	<p>別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために、登校時に街頭で交通安全指導を献身的に務めている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導の要請がある時は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持に多大な貢献をされている。</p>
<p>むらかみ 勝間 村上 勝間</p>	<p>別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために、登校時に街頭で交通安全指導を献身的に務めている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導の要請がある時は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持に多大な貢献をされている。</p>
<p>たかお 加代子 高尾 加代子</p>	<p>平成23年から人権擁護委員として、毎月開催される無料人権相談で様々な悩みを抱える方からの相談を受け、それを解決するための援助を積極的に行なっている。また、民生委員・児童委員として、地域住民に寄り添った福祉活動を行うとともに、更生保護女性会理事として地域に密着した更生保護活動を行っている。さらに、高齢者施設の訪問や、保育園、幼稚園、小学校の人権教室等さまざまな啓発活動を行うなど、地域福祉の向上に多大な貢献をされている。</p>
<p>あだち 美和子 安達 美和子</p>	<p>平成23年から人権擁護委員として、毎月開催される無料人権相談で様々な悩みを抱える方からの相談を受け、それを解決するための援助を積極的に行なっている。また、別府溝部学園短期大学の教員として教壇に立つ傍ら、これまでの経験を活かして、学校、家庭、地域が一体となって、青少年の健全育成に取り組むネットワークづくりに取り組んでいる。さらに、別府市地域婦人団体連合会副会長としての活動も行っており、地域福祉の向上に多大な貢献をされている。</p>

# 公共福祉部門（16名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
<p>いとう ひろたか 伊藤 博太</p>	<p>平成22年11月に別府商工会議所議員に就任し、地域商工業発展のために献身的な努力をされ、10年間の長きにわたり、常議員を務めるなど地域商工業発展のために尽力されている。</p>
<p>ますだ ひろし 栴田 浩</p>	<p>平成25年1月に別府商工会議所議員に就任し、地域商工業発展のために献身的な努力をされ、10年間の長きにわたり、常議員や副会頭を歴任するなど地域商工業発展のために尽力されている。</p>
<p>もりやま しゅういち 森山 秀一</p>	<p>長年にわたり鉄筋士として技能を磨き、その施工能力は非常に優れており、優良職長として多くの受賞歴がある。また、平成21年には登録基幹技能者として登録されており、近年建設業界において重点的に取り組まれている建設キャリアアップにおいても最も技能に優れた技能者に認められるゴールドカードを取得している。さらにその温かな人柄により、後進の指導・育成者としても能力を発揮し建設業界発展のために貢献されている。</p>
<p>いしはら たかこ 石原 孝子</p>	<p>平成13年12月に民生委員・児童委員に委嘱され、21年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力した功績は大きい。また、現在は、緑丘地区民生委員・児童委員協議会の副会長として、単位民生委員・児童委員協議会の運営に貢献されている。</p>
<p>むねやす ゆみこ 宗安 由美子</p>	<p>平成22年12月に民生委員・児童委員に委嘱され、12年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力した功績は大きい。また、現在は、児童母子・父子部会の部長として、児童母子・父子部会の運営に貢献されている。</p>
<p>やまもと のりお 山本 徳夫</p>	<p>平成13年12月に民生委員・児童委員に委嘱され、21年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力した功績は大きい。また、現在は、境川地区民生委員・児童委員協議会の会長として、単位民生委員・児童委員協議会の運営に貢献されている。</p>
<p>つるおか まりこ 鶴岡 まり子</p>	<p>平成23年に更生保護女性会に入会以来、地区更生保護女性会の活動や行事、更生保護事業に積極的に参加、協力している。平成28年度より理事、令和2年度より役員として活躍中である。また、青山地区更生保護女性会員のまとめ役として、当地区内でも住民福祉のために多大なる貢献をされている。</p>
<p>かわの こうじろう 川野 幸次郎</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成19年に班長、令和2年に部長へ昇任し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は一般住宅や高層建物が多数点在しているため、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>

## 公共福祉部門 (つづき)

氏 名	功 績 内 容
<p>いちりき しゅうじ 一力 秀次</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成24年に班長、平成27年に部長、令和2年に副分団長、令和3年に分団長へ昇任し、現在、第8分団の分団長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は一般住宅が多数点在しているため、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>かがわ やすひこ 香川 泰彦</p>	<p>平成5年に消防団員拝命後、平成13年に班長、平成23年に部長へ昇任し、現在、第5分団の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は一般住宅や高層建物が多数点在しているため、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>かわべ ただのぶ 川邊 忠信</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成14年に班長、平成22年に部長、令和2年に副分団長へ昇任し、地域住民と連携を保ち、地域の防災活動の担い手として各行事等に積極的に出席し、火災予防の啓発に努めた。令和5年3月31日をもって退団となったが、在団期間30年4か月と別府市に対する功績は多大である。</p>
<p>さわい しんいち 澤井 伸一</p>	<p>平成5年に消防団員拝命後、平成18年に班長、平成22年に部長、平成28年に副分団長、令和4年に分団長へ昇任し、現在、第6分団の分団長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は一般住宅が多数点在しているため、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>うえの かずゆき 上野 一幸</p>	<p>平成5年に消防団員拝命後、平成14年に班長、平成23年に部長、令和5年に副分団長へ昇任し、現在、第1分団の副分団長として部下団員をリードし、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は密集地が多く、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>おの りょういち 小野 良一</p>	<p>平成5年に消防団員拝命後、平成17年に班長、平成22年に部長、平成28年に副分団長、令和4年に分団長へ昇任し、現在、第4分団の分団長として、部下団員をリードし相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図った。また、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>よしみ かずひで 吉見 一英</p>	<p>平成5年に消防団員拝命後、平成18年に班長、平成26年に部長へ昇任し、現在、第5分団の部長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、管内は一般住宅や高層建物が多数点在しているため、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>せと よしお 瀬戸 由夫</p>	<p>平成5年に消防団員拝命後、平成22年に班長、平成27年に部長、令和4年に副分団長へ昇任し、現在、第6分団の副分団長として立場をよく理解し、部下団員をリードするとともに、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域の公民館活動や各種会合等に率先して出席し地域住民に対しても火災予防の啓発に努め、地域住民からの信頼は絶大である。</p>

## 教育・文化・スポーツ部門（1名）

（敬称略）

氏 名	功 績 内 容
<p>ながの ちから 長野 力</p>	<p>別府大学付属高校入学より剣道を始め、日本体育大学 体育学部 武道学科 剣道専攻科を卒業し、以後現在まで別府市剣道連盟会員として在籍し、本連盟発展のため尽力されている。また、少年剣道大会を開催するにあたり、日となり影となり大会の盛会に尽力し、長年にわたる剣道の普及・発展においての功績は多大である。</p>

## 市民活動部門（1団体）

（敬称略）

団 体 名	功 績 内 容
<p>NPO法人 Beautiful World （理事長 おの 小野 ヤーナ）</p>	<p>在日ウクライナ大使館から正式に避難民受け入れの担当に任命され、ビザ取得・来日方法・受け入れ先の調整・来日後のサポートなど、日本の九州地区へ避難するウクライナ人避難民を支援している。令和5年6月20日時点において、別府市と協力し15世帯30人のウクライナ人避難民の生命を保護し、別府市民として就労、就学させることにより、安全で安定した生活を提供することに尽力されている。</p>